

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１４～２２℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが１日１統当たり２１トンの水揚げで、前週の１．２倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり１７トンの水揚げで、前週の２．４倍（前年並み）。
- イカ釣――ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり１６kgの水揚げで、前週の３．２倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり１５９kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり７１kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが１日１統当たり３４８kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが１日当たり１９１kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（１２／１０～１２／１５の６日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸～三沢沖で操業したが時化のため入港、及び大和堆沖探索船あり。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、海況悪く出漁せず。

沖合イカ釣（鳥取県西部・沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>